

第5 運営状況の概要

1 財政面から見た都との関係

協会の会計は、公益事業を整理する公益目的事業会計、収益事業を整理する収益事業会計及び法人会計の3会計で構成されている。

協会の各会計における収入の状況について、平成25年度は表4のとおり、また平成26年度は表5のとおりである。平成26年度において、その財源に占める都からの収入の割合は68.6%となっている。

(表4) 協会の各会計に係る収支の内訳 (平成25年度) (単位：千円)

| 項目 | 3会計合計 | 公益目的事業会計 | 収益事業会計 | 法人会計 |
|-------------|-------------------|-------------------|------------------|-----------------|
| 収入 額 | 8,617,102 | 5,667,561 | 2,779,837 | 169,704 |
| 都からの収入 (割合) | 5,800,159 (67.3%) | 5,634,121 (99.4%) | - | 166,037 (97.8%) |
| 受託事業収入 | 5,800,159 | 5,634,121 | - | 166,037 |
| 動物園 管理委託料 | 5,715,618 | 5,549,580 | - | 166,037 |
| その他 | 84,541 | 84,541 | - | - |
| 他の収入 (割合) | 2,816,943 (32.7%) | 38,440 (0.6%) | 2,779,837 (100%) | 3,666 (2.2%) |
| 支出 額 | 8,612,787 | 5,856,070 | 2,496,482 | 260,234 |

(注) 計数については、原則として、表示単位未満を切り捨て、端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合がある。以下同じ。

(表5) 協会の各会計に係る収支の内訳 (平成26年度) (単位：千円)

| 項目 | 3会計合計 | 公益目的事業会計 | 収益事業会計 | 法人会計 |
|-------------|-------------------|-------------------|------------------|-----------------|
| 収入 額 | 9,055,736 | 6,090,388 | 2,790,872 | 174,474 |
| 都からの収入 (割合) | 6,214,099 (68.6%) | 6,043,743 (99.2%) | - | 170,356 (97.6%) |
| 受託事業収入 | 6,214,099 | 6,043,743 | - | 170,356 |
| 動物園 管理委託料 | 6,132,887 | 5,962,531 | - | 170,356 |
| その他 | 81,212 | 81,212 | - | - |
| 他の収入 (割合) | 2,841,637 (31.4%) | 46,645 (0.8%) | 2,790,872 (100%) | 4,119 (2.4%) |
| 支出 額 | 9,052,616 | 6,223,660 | 2,567,350 | 261,605 |

2 公の施設の管理運営事業について

協会は、都との協定に基づき、動物園の指定管理者として、表6の各動物園において飼育展示業務、教育普及業務、野生生物保全業務、管理運営業務、施設維持管理等の業務を行っている。また、指定管理者事業に係る支出は、表7のとおり、平成26年度は61億3,584万円であり、前年度と比較して3億8,382万円の増加している。

協会が管理運営している各動物園の入園者数の実績は、表8のとおりであり、また、入園券等の販売の実績は、表9のとおりである。

平成26年度の入園者数は、桜の開花時期が長かったこと、夏季の夜間開園や冬季のVisi tほつとZooキャンペーン等により、4園合計で約700万人となり前年度と比較して31万6千人(4.7%)の増となっている。

(表6) 各施設の概要

| 施設名称 | 所在地 | 開園年月日 | 面積 (㎡) |
|----------|-------------------------|------------|------------|
| 恩賜上野動物園 | 台東区上野公園 台東区池之端三丁目 | 明治15年3月20日 | 142,897.89 |
| 多摩動物公園 | 日野市程久保六、七丁目 日野市南平八丁目 | 昭和33年5月5日 | 601,372.54 |
| 葛西臨海水族園 | 江戸川区臨海町六丁目 | 平成元年10月10日 | 85,958.90 |
| 井の頭自然文化園 | 武蔵野市御殿山一丁目 | 昭和17年5月17日 | 115,500.00 |

(表7) 指定管理者事業に係る支出の内訳 (単位：千円)

| 区分 | 平成26年度 | 平成25年度 | 増(△)減 |
|-----|-----------|-----------|---------|
| 人件費 | 2,214,075 | 2,213,089 | 986 |
| 事業費 | 3,240,179 | 3,062,711 | 177,468 |
| 間接費 | 484,335 | 359,261 | 125,074 |
| 消費税 | 197,257 | 116,964 | 80,293 |
| 合計 | 6,135,848 | 5,752,026 | 383,822 |

(表8) 各動物園の入園者数

| 施設名 | 平成26年度 | | | 平成25年度 | | | 増(△)減 (A)-(B) |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------|
| | 有料入園者 | 無料入園者 | 合計(A) | 有料入園者 | 無料入園者 | 合計(B) | |
| 恩賜上野動物園 | 2,049,673 | 1,644,084 | 3,693,757 | 1,934,382 | 1,555,682 | 3,490,034 | 203,723 |
| 多摩動物公園 | 520,528 | 521,157 | 1,041,685 | 495,774 | 507,564 | 1,003,338 | 38,347 |
| 葛西臨海水族園 | 716,431 | 755,677 | 1,472,108 | 719,123 | 747,385 | 1,466,508 | 5,600 |
| 井の頭自然文化園 | 425,755 | 370,110 | 795,865 | 390,786 | 335,974 | 726,760 | 69,105 |
| 計 | 3,712,387 | 3,291,028 | 7,003,415 | 3,540,035 | 3,146,605 | 6,686,640 | 316,775 |

(注) 無料入園者：小学生以下、都内在住在学中中学生、身体障害者、無料開園日入園者等

(単位：人)

(表9) 各動物園の入園券等の販売実績

| 施設名 | 平成26年度 | | | 平成25年度 | | | 増(△)減 (A)-(B) |
|----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|-----------|------------------|
| | 入園券 | パスポート | 合計(A) | 入園券 | パスポート | 合計(B) | |
| 恩賜上野動物園 | 1,056,749 | 47,366 | 1,104,115 | 993,391 | 45,186 | 1,038,577 | 65,537 |
| 多摩動物公園 | 252,410 | 15,325 | 267,735 | 237,894 | 14,902 | 252,797 | 14,938 |
| 葛西臨海水族園 | 443,765 | 7,292 | 451,057 | 454,458 | 6,549 | 461,007 | △ 9,949 |
| 井の頭自然文化園 | 117,739 | 17,702 | 135,441 | 109,531 | 16,423 | 125,954 | 9,487 |
| 計 | 1,870,664 | 87,686 | 1,958,350 | 1,795,275 | 83,061 | 1,878,336 | 80,014 |

(注) パスポートは1年間の定期入園券である。

(単位：千円)

公益社団法人東京都教職員互助会

第1 監査の目的

地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第7項に基づき、都が補助金交付等の財政援助を行っている団体に対して、補助金の算定は適正に行われているか、財政援助に係る事業は目的に沿って適切に執行されているか、監査を実施する。

第2 監査の対象

1 監査対象団体及び局

- (1) 監査対象団体 公益社団法人東京都教職員互助会
- (2) 監査対象局 教育庁及び福祉保健局

2 団体の概要

(1) 団体の概要

公益社団法人東京都教職員互助会(以下「互助会」という。)は、大正8年に東京府教職員互助会として発足し、教職員病院建設のため、昭和6年に社団法人化された団体であり、昭和8年から三葉病院(以下「病院」という。)を開院しており、病院の概要は表1のとおりである。なお、互助会は、平成25年4月から公益社団法人へ移行しており、東京都の教育向上に資するため、下記の事業を行い、もって公益の増進に寄与することを目的としている。

- ア 学校教育及び地域教育の支援に関する事業
- イ 三葉病院等による保健医療に関する事業
- ウ 教職員の健康増進及び生涯生活設計支援に関する事業
- エ 教職員の追悼に関する事業
- オ その他この法人の目的を達するために必要な事業

(表1) 病院の概要(平成27年3月31日現在)

| 所在地 | 千代田区神田駿河台二丁目5番 | | | | | | |
|--------|--|-------|-------------------------------------|------|------------------------------------|--------|-----------------------------|
| 敷地面積 | 4,987.17m ² | | | | | | |
| 建物規模 | <table border="1"> <tr> <td>病院本館</td> <td>17,503.42m²(地上9階、地下2階)</td> </tr> <tr> <td>病院別館</td> <td>3,008.85m²(地上5階、地下1階)</td> </tr> <tr> <td>病院別館南棟</td> <td>287.88m²(地上3階)</td> </tr> </table> | 病院本館 | 17,503.42m ² (地上9階、地下2階) | 病院別館 | 3,008.85m ² (地上5階、地下1階) | 病院別館南棟 | 287.88m ² (地上3階) |
| 病院本館 | 17,503.42m ² (地上9階、地下2階) | | | | | | |
| 病院別館 | 3,008.85m ² (地上5階、地下1階) | | | | | | |
| 病院別館南棟 | 287.88m ² (地上3階) | | | | | | |
| 診療科目数 | 17科 消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、呼吸器内科、予防医学内科、精神神経科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科 | | | | | | |
| 病床数 | <table border="1"> <tr> <td>許可病床数</td> <td>270床(一般病床243床、精神病床27床)</td> </tr> <tr> <td>稼働床</td> <td>235床(一般病床208床、精神病床27床)</td> </tr> </table> | 許可病床数 | 270床(一般病床243床、精神病床27床) | 稼働床 | 235床(一般病床208床、精神病床27床) | | |
| 許可病床数 | 270床(一般病床243床、精神病床27床) | | | | | | |
| 稼働床 | 235床(一般病床208床、精神病床27床) | | | | | | |

(2) 組織 (平成27年3月31日現在)

互助会は、事務所を千代田区神田駿河台二丁目5番に置き、役員10名(理事長1名、業務執行理事2名、理事6名、監事1名)及び職員823名(うち都派遣職員2名)で、事務局及び病院をもって構成されている。
会員数は12万916人(正会員(公立学校教職員等)6万7,717人及び賛助会員(退職者等)5万3,199人)である。

3 都との関係

都は、互助会に対し、「公益社団法人東京都教職員互助会三葉病院運営費補助金交付要綱」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく報告書等報告業務補助金交付要綱」等に基づき、平成25年度は1億4,000万余円、平成26年度は1億1,676万余円の補助金を交付しており、その補助金の目的及び交付方法は、表2のとおりである。

(表2) 補助事業の概要

(単位：千円)

| 区分 | 補助事業 | 補助目的 | 交付方法 | 補助金額 | |
|--------|-------------------------------|-----------------------------------|--|---------|---------|
| | | | | 平成25年度 | 平成26年度 |
| 教育庁分 | 三葉病院精神神経科の運営 | 精神神経科の診療体制の確保に資する。学校教職員の任用管理に資する。 | 補助対象額と補助限度額を比較し、少ない方の額を、都の予算範囲で交付 | 138,722 | 115,680 |
| 福祉保健局分 | 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく報告業務補助 | 注に基づく公費負担率の適正な執行を図る。 | 医療保護入院者の入院措置入院者及び医療保護入院者の定額助成額を1通につき3千円を交付 | 21 | 9 |
| | 救急医療機関勤務医師確保事業 | 救急勤務医手当の創設を促し、過酷な勤務状況を改善を図る。 | 救急勤務医手当の支出額と、別に定める少ない方の額の合計を、都の予算範囲で交付 | 1,008 | 1,079 |
| | 災害拠点連携病院衛生通信装置整備事業 | 衛生通信装置の整備を促進し、情報連絡体制の強化を図る。 | 衛生通信装置の購入費用と、別に定める少ない方の額を、都の予算範囲で交付 | 250 | - |
| 合計 | | | | 140,001 | 116,768 |

第3 監査の範囲及び実地監査期間

- 1 監査の範囲
平成25年度及び平成26年度の事業について実施した。
- 2 実地監査期間
(1) 教育庁 平成27年11月5日及び11日
(2) 福祉保健局 平成27年11月5日及び12日
(3) 互助会 平成27年11月6日、9日及び10日

第4 監査の結果

- 1 補助対象事業の執行について
互助会が行っている補助対象事業について、総勘定元帳、伝票及び証ひょう等により、補助金の算定は適正に行われているか、事業は適切に執行されているかについて検証した。
その結果、補助金の算定は適正に行われており、事業は財政援助の目的に沿って適切に執行されていると認められる。

第5 補助対象事業の概要

- 1 補助金の交付実績
平成25年度及び平成26年度における補助金の交付実績は、表3のとおりである。

(表3) 補助金の交付実績

(単位：千円)

| 区分 | 補助事業 | 年度 | 補助金額 | 補助対象額 | 補助限度額 | 補助基本額 | 補助率 | 補助算定額 | 補助上限額 |
|--------|-------------------------------|----|---------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 教育庁分 | 三葉病院精神神経科の運営 | 25 | 138,722 | 243,899 | 263,924 | 243,899 | 12/20 | 146,339 | 138,722 |
| | | 26 | 115,680 | 210,328 | 233,242 | 210,328 | 11/20 | 115,680 | 129,235 |
| 福祉保健局分 | 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく報告業務補助 | 25 | 21 | - | - | - | - | - | - |
| | | 26 | 9 | - | - | - | - | - | - |
| | 救急医療機関勤務医師確保事業 | 25 | 1,008 | 2,115 | 1,512 | 1,512 | 2/3 | 1,008 | 1,471 |
| | | 26 | 1,079 | 2,575 | 1,619 | 1,619 | 2/3 | 1,079 | 1,700 |
| | 災害拠点連携病院衛生通信装置整備事業 | 25 | 250 | 335 | 250 | 250 | 10/10 | 250 | 250 |
| | | 26 | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | | 25 | 140,001 | 246,349 | 265,686 | 245,661 | - | 147,597 | 140,443 |
| | | 26 | 116,768 | 212,903 | 234,861 | 211,947 | - | 116,759 | 130,935 |

(注1) 補助対象額：精神神経科と精神神経科以外の診療科の損益額の差額(精神神経科と精神神経科以外の診療科の患者一人当たりの損益額の差額に精神神経科の患者数を乗じた額)

(注2) 補助限度額：精神神経科の損益額(営業収益-営業費用)

(注3) 補助基本額：補助対象額と補助限度額とを比較して少ない方の額

2 補助対象事業の実績及び算定方法
三業病院精神神経科の運営補助(ほか3件の補助事業実績等)については、表4及び表5のとおりである。

(表4) 精神神経科の実績及び補助対象額の算定方法 (教育庁分) (単位: 千円・人)

| | 平成25年度 | | 平成26年度 | |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 精神神経科 | その他の科 | 精神神経科 | その他の科 |
| 医業収益 (A) | 367,907 | 7,243,532 | 382,945 | 7,194,092 |
| 医業費用 (B) | 631,831 | 7,501,904 | 616,187 | 7,451,447 |
| 損益額 (C)=(A-B) | △ 263,924 | △ 258,372 | △ 233,242 | △ 257,356 |
| 入院患者数 (D) | 7,375 | 59,806 | 8,575 | 57,107 |
| 外来患者数 (E) | 13,999 | 215,820 | 16,019 | 218,910 |
| 患者数合計 (F)=(D+E) | 21,374 | 275,626 | 24,594 | 276,017 |
| 1人当たりの損益額 (G)=(C/F) | △ 12,348円 | △ 937円 | △ 9,484円 | △ 932円 |
| 1人当たりの損益額の差 (H) | △ 11,411円 | | △ 8,552円 | |
| 補助対象額 (I)=(H×F) | △ 243,899 | | △ 210,328 | |

(注) 1人当たりの損益額: 円未満四捨五入

(表5) 補助対象事業の実績 (福祉保健局分)

| | 平成25年度 | | 平成26年度 | |
|------------------------|------------|-------------|------------|--------------|
| | 入院届 | 7件 | 入院届 | 3件 |
| 精神保健及び精神障害者福祉に関する報告書件数 | 入院届 | 7件 | 入院届 | 3件 |
| 救急医療業務手当支給回数 | 休日昼間 夜間 | 48件 375件 | 休日昼間 夜間 | 105件 410件 |
| 衛星通信装置購入費用 | 1式 | 335,000円 | | — |

公益財団法人東京都島しょ振興公社

第1 監査の目的
地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第7項に基づき、都が出資等を行っている団体に対して、団体の事業が出資等の目的に沿って適切に運営されているか監査を実施する。

第2 監査対象の概要

- 1 監査対象団体及び局
(1) 監査対象団体 公益財団法人東京都島しょ振興公社
(2) 監査対象局 総務局

2 事業の内容

- (1) 事業の概要
公益財団法人東京都島しょ振興公社(以下「公社」という。)は、伊豆諸島及び小笠原諸島地域の活性化を図るため、地域の産業、観光等の振興に関する事業を行うことにより、東京都の島しょ地域の振興と豊かな地域社会の形成に寄与することを目的として、平成元年10月に設立された団体であり、主として次の事業を行っている。
ア 地域振興に係る特産品の開発、普及、観光の振興、人材育成及び助成に関する事業
イ 特産品に係る展示販売、おまつれに関する事業
ウ 情報・資料の収集提供及び広報に関する事業
エ 地域振興に係る施設の設置・管理運営に関する事業
オ 島しょ間交通網の整備に関する調査・研究及び支援に関する事業
- (2) 都との関係
ア 都は、基本財産40億円のうち18億1,840万円(45.46%)を出えんしている。
イ 都は「東京都伊豆諸島地域へリコミュニティー補助金交付要綱」及び「公益財団法人東京都島しょ振興公社運営費補助金交付要綱」に基づき、表1のとおり、補助金を交付している。
ウ 都は、運営資金貸付金を、表2のとおり貸し付けている。

(表1) 補助金の交付状況

| 区分 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------------|-------------|-------------|
| へリコミュニティー補助金 | 430,000,000 | 480,000,000 |
| 運営費補助金 | 17,097,323 | 0 |
| 合 計 | 447,097,323 | 480,000,000 |

(単位: 円)

(表2) 運営資金貸付金の状況

| 年 度 | 当年度末残高 (A = D + B - C) | 貸付 (B) | 償還 (C) | 前年度末残高 (D) |
|--------|---------------------------|-----------|-----------|---------------|
| 平成25年度 | 2,240,000 | 560,000 | 560,000 | 2,240,000 |
| 平成26年度 | 2,240,000 | 560,000 | 560,000 | 2,240,000 |

(単位：千円)

3 組織
 公社は、事務所を港区海岸一丁目4番15号に置き、非常勤役員9名(理事長1名、理事5名、監事3名)、評議員7名、事務局職員8名(うち都派遣4名)で、2課をもって構成されている。

第3 監査の範囲及び実地監査期間

1 監査の範囲

平成25年度(平成25.4.1～平成26.3.31)及び平成26年度(平成26.4.1～平成27.3.31)の事業について実施した。

2 実地監査期間

(1) 総務局 平成27年10月7日及び同月23日
 (2) 公 社 平成27年10月8日から同月22日まで

第4 監査の結果

1 運営に関する事項

公社の事業は、公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計の3会計に区分して整理されている。

平成26年度の収支状況は、経常収益が7億963万余円、経常費用が7億1,400万余円、経常外費用3,532万余円であり、その結果、当期一般正味財産は、3,969万余円減少している。

平成26年度末における財政状態は、資産の合計が70億9,341万余円、負債の合計が22億6,190万余円、正味財産が48億3,150万余円となっている。

運営環境を見ると、公社は、事業資金を主に基本財産及び特定資産の運用収入により賄っているが、引き続き低金利の影響により事業資金の確保が厳しい状況となっている。

公社は、厳しい財政状況であっても、公益財団法人として真に必要な事業については、これを確実に実施するための必要な予算を確保し、事業の実施に当たっては、実施内容を精査した上で歳出の精査にも取り組み、費用対効果の検証をしながら経費の削減に努めるとしている。

以上、運営状況について述べてきたが、公社の事業は、別項指摘事項を除き、出えんの目的に沿って、適切に運営されていると認められる。

2 指摘事項

(1) 公社

ア 会計処理について

(ア) 賞与等の会計処理を適正に行うべきもの

公社は、公益財団法人東京都島しょ振興公社財務規程(平成元年規程第8号)第2条により公社の会計年度を毎年4月1日から翌年3月31日までと定めており、公益財団法人東京都島しょ振興公社職員給与規程(平成元年規程第4号。以下「給与規程」という。)第22条第1項、第2項及び第23条第1項により6月と12月に職員に対して期末手当及び勤勉手当(以下「賞与」という。)を支給している。

給与規程第22条第2項及び第23条第1項により、6月に支給する賞与の支給対象期間は、前年12月から当年5月となっており、会計処理においては、前年度の12月から3月までの4か月分について前年度の費用(給料手当及び法定福利費)として計上し、同額を負債科目(賞与引当金又は未払費用)へ計上する必要があるところ、公社は引当金等を計上していない。

平成25年6月及び平成26年6月に支給した賞与について、前年度の費用として公社が計上すべき金額を計算すると表3のとおり、平成24年度に計上すべき金額は148万5,908円、平成25年度に計上すべき金額は149万3,481円となる。

公社は、賞与等の会計処理を適正に行われたい。

(公益財団法人東京都島しょ振興公社)

(表3) 前年度費用に計上すべき金額

| 年度 | 項 目 | 前年度の費用に計上すべき金額 |
|--------|------------------|---|
| 平成25年度 | 賞 与 | 平成24年12月1日から引き続き勤務する職員の平成25年6月の賞与支給額×4/6か月 1,937,743円×4/6=1,291,828円 |
| | 賞与に係る社会保険料の公社負担分 | 平成24年12月1日から引き続き勤務する職員の社会保険料の公社負担分×4/6か月 291,121円×4/6=194,080円 |
| 平成26年度 | 合 計 | 1,291,828円+194,080円=1,485,908円 |
| | 賞 与 | 平成25年12月1日から引き続き勤務する職員の平成26年6月の賞与支給額×4/6か月 1,944,203円×4/6=1,296,135円 |
| 平成26年度 | 賞与に係る社会保険料の公社負担分 | 平成25年12月1日から引き続き勤務する職員の社会保険料の公社負担分×4/6か月 296,020円×4/6=197,346円 |
| | 合 計 | 1,296,135円+197,346円=1,493,481円 |

(イ) 超過勤務手当の会計処理を適正に行うべきもの
 公社は、平成26年3月及び平成27年3月に実績がある超過勤務に対する手当を、平成26年4月及び平成27年4月に支給している。
 これら超過勤務手当は、それぞれ前年度である前月分の勤務実績に係る手当の支給であるため、発生主義会計に基づき、超過勤務の実績がある年度の費用(給料手当)として計上し、同額を負債科目(未払金等)へ計上する必要があるところ、公社は超過勤務の実績がある年度に費用等を計上していない。
 平成26年3月及び平成27年3月に実績がある超過勤務手当について、当年度の費用として公社が計上すべき金額を計算すると平成25年度に計上すべき金額は60万4,242円、平成26年度に計上すべき金額は9万3,562円となる(監査事務局試算)。
 公社は、超過勤務手当の会計処理を適正に行われたい。
 (公益財団法人東京都島しょ振興公社)

イ 売上金額の確認を適切に行うべきもの
 公社は、島しょ特産品の展示販売や島しょの食材を活用したレストランをアンテナショップ「東京愛らんど」として、竹芝客船ターミナル内で民間業者に運営させ、売上金額の一部(平成25年度:252万7,000円、平成26年度:391万7,000円)を公社に納付させている。
 とところで、運営業者に売上金額の一部を請求している書類を確認したところ、平成26年度分は、運営業者からの売上金額の報告書には売上金額の合計が記載されているものの、その売上金額を証明できる書類の添付がなく、また、公社も運営業者に対し、売上金額を証明できる書類の提出を求めておらず、正確な売上金額の確認をしていなかった。
 公社は、運営する業者に売上金額の一部を請求するに当たり、正確な売上金額の確認をしていないのは適切ではない。
 公社は、売上金額の適切な確認を行われたい。
 (公益財団法人東京都島しょ振興公社)

第5 運営状況の概要

1 運営状況

(1) 事業実績

ア 公益目的事業

公益目的事業の主な事業実績は、表4のとおりである。

(表4) 公益目的事業の主な事業実績

| 事業名 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------------|---|--|
| 1 地域振興事業 | (1) 地域振興補助事業 有望な特産品・観光資源の開発等を行う団体への補助 採択事業：椿油作製販売等13件 | (1) 地域振興補助事業 有望な特産品・観光資源の開発等を行う団体への補助 採択事業：御蔵島産魚類の加工品(燻製)開発等11件 |
| | (2) 観光振興事業 主催イベント：3回実施 東京愛らんどフェア H25.5.24～5.28、H25.9.9～9.10 東京愛らんどフェアコフレ2013 各種イベント参加等：36回 | (2) 観光振興事業 主催イベント：1回実施 東京愛らんどフェア H26.9.19～9.20 各種イベント参加等：29回 |
| | (3) 人材育成事業 愛らんどリーグ2013サッカー大会 参加者：222名 | (3) 人材育成事業 愛らんどリーグ2014サッカー大会 参加者：216名 |
| | (4) 特産品推進事業 デザインプロジェクト あしたはふわふわ削り節パッケージの新デザイン製作 | (4) 特産品推進事業 デザインプロジェクト 明日葉饅頭パッケージの新デザイン製作 |
| 2 特産品展示販売事業 | (1) 委託による東京の島のアンテナショップ「東京愛らんど」の運営 委託者の販売額：84,524千円 (2) 通信販売 〔楽天市場〕及び〔東京愛らんど市場〕 販売額：2,585千円 | (1) 委託による東京の島のアンテナショップ「東京愛らんど」の運営 委託者の販売額：60,236千円 (2) 通信販売 〔楽天市場〕、〔東京愛らんど市場〕、〔WEB BOX〕、〔おとデパ〕 販売額：2,499千円 |

| 事業名 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---|---|---|
| 3 広報伝事業 | (1) 広報伝事業 ① フロボーザル方式で決定された業者企画による広報伝活動 ② 一般女性フロカーを対象にした伊豆諸島視察ツアー | (1) 広報伝事業 ① フロボーザル方式で決定された業者企画による広報伝活動 ② 一般女性フロカーを対象にした伊豆諸島視察ツアー |
| ※HPのアクセス件数については、平成25年度のHPリニューアルに伴い、新旧両方のアクセス数をカウントしており、平成26年度はアクセス数の解析方法が変更された。 | (2) 愛らんどネットワーク事業 インターネットホームページ 公社HPアクセス※ 550,799件 うち通信販売アクセス 55,936件 | (2) 愛らんどネットワーク事業 インターネットホームページ 公社HPアクセス※ 105,730件 うち通信販売アクセス 60,123件 |
| 4 施設等管理 運営事業 | (1) 倉庫等賃貸 災害備蓄用木炭・コンロの保管管理 | (1) 倉庫等賃貸 災害備蓄用木炭・コンロの保管管理 |
| 5 交通関連事業 | (1) へり・コミュニターの運航支援事業 搭乗人員：17,456人 搭乗率：57.2% 運航区間及び旅客数 八丈島—青ヶ島 5,046人 八丈島—御蔵島 2,790人 御蔵島—三宅島 3,745人 三宅島—大島 3,302人 利島—大島 2,573人 合計 17,456人 | (1) へり・コミュニターの運航支援事業 搭乗人員：15,224人 搭乗率：55.7% 運航区間及び旅客数 八丈島—青ヶ島 5,051人 八丈島—御蔵島 1,909人 御蔵島—三宅島 3,674人 三宅島—大島 2,317人 利島—大島 2,273人 合計 15,224人 |

イ 収益事業
 収益事業の事業実績は、表5のとおりである。

(表5) 収益事業の事業実績

| 事業名 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------------|--|--|
| 東京愛らんど飲食事業 | 委託による島しょ地域の農水産物を活用した飲食の提供 委託者の売上：36,868千円 来店客数：26,616人 | 委託による島しょ地域の農水産物を活用した飲食の提供 委託者の売上：34,807千円 来店客数：26,248人 |

(2) 収支状況

平成25年度及び平成26年度の比較正味財産増減計算書は、別表1のとおりであり、平成26年度における会計別の収支状況を示す内訳は、別表2のとおりである。
 平成26年度における収支状況は、経常収益7億963万9千円、経常費用7億1,400万9千円、経常外費用3,532万9千円となっている。一般正味財産の期末残高は、8億3,150万9千円であり、平成25年度(8億7,119万9千円)と比較して、3,969万9千円(4.6%)減少している。

ア 公益目的事業会計

本会計は、地域振興事業、特産品展示販売事業をはじめとする公益目的事業に係る収支を管理するものである。
 経常収益は6億5,761万9千円であり、主なものは、都からの東京都伊豆諸島地域へりコミュニティー補助金4億8,000万円である。経常費用は6億7,111万9千円であり、主なものは、伊豆諸島地域二地点間へり輸送事業(東京都伊豆諸島地域へりコミュニティー事業)への負担金支出4億8,261万9千円である。経常外費用は3,452万9千円であり、貸倒引当金を繰り入れたことによるものである。
 この結果、当期一般正味財産は4,801万9千円減少している。

イ 収益事業等会計

本会計は、東京諸島のアンテナショップである東京愛らんどにおいて行っている飲食事業に係る収益事業等の収支を管理するものである。
 経常収益は1,412万9千円であり、主なものは基本財産運用益1,184万9千円である。経常費用は1,416万9千円であり、光熱水料費、賃借料等の飲食事業に要する事業費である。経常外費用は80万9千円であり、貸倒引当金を繰り入れたことによるものである。
 この結果、当期一般正味財産は84万9千円減少している。

ウ 法人会計

本会計は、公社の管理運営に係る収支を管理するものである。
 経常収益は3,789万9千円であり、主なものは、運営受取負担金2,653万9千円である。経常費用は、給料手当、賃借料等の管理費2,872万9千円である。
 この結果、当期一般正味財産は917万9千円増加している。

(3) 財政状態

平成26年度末の財政状態は、「別表3比較貸借対照表」のとおりである。
 資産合計は70億9,341万余円、負債合計は22億6,190万余円、正味財産は48億3,150万余円となっている。

平成26年度における資産合計は、平成25年度(71億3,726万余円)と比較して4,385万余円(0.6%)減少している。これは主に、現金預金が4,429万余円(16.0%)減少したことによるものである。

負債合計は、平成25年度(22億6,606万余円)と比較して416万余円(0.2%)減少している。これは主に、未払金が393万余円減少したことによるものである。

これらの結果、正味財産の合計は、48億3,150万余円となり、平成25年度(48億7,119万余円)と比較して3,969万余円(0.8%)減少している。

(4) 運営環境に関する評価

経営環境について、事業活動、財務活動等の観点から確認を行った結果、事業環境及び事業運営において、次のとおり留意すべき点が見受けられた。

ア 事業の環境及び事業運営

島しょ地域特有の厳しい自然環境の中で、島民生活の安定と自立的発展を維持していくために、産業の活性化や交通アクセスの改善等が必要である。

このような状況を踏まえ、公社は、平成元年の発足以来、島しょ地域の振興を図るため、数多くの事業を実施してきたが、各事業の取組みを強化し、更なる島しょ振興の推進を図るため、経営姿勢の基本方針として、平成24年度に「公益財団法人東京都島しょ振興公社第3次中期実施計画」(平成25年度～平成27年度)を策定した。

この計画において、引き続き公社は、島しょ地域内外に対し強いアピール力を持つ「特産品」をキーワードに、展示販売、地域振興、広報宣伝等の事業展開を図ることとしている。

しかしながら、公社の事業運営に要する費用は、主に基本財産の利息収入により賄われているため、現在の金利水準の低さは、正味財産及び収支相償を維持するには難しい事業環境となっている。

現在の景気は緩やかな回復基調にあるものの、今後とも引き続き、低金利の状態による厳しい事業環境は続くものと思われる。

このため、今後も引き続き公社の設立の目的である、島しょ地域の振興を図っていくためには、事業の展開内容及び事業運営体制の検証、見直しを継続的に行っていく必要がある。

(別表1) 公益財団法人東京都島しょ振興公社 比較正味財産増減計算書

(単位:円)

| 科 目 | 平成26年度 (A) | 平成25年度 (B) | 増 減 | | 減 率 (%) (B) ×100 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|-------------|------------------------------|
| | | | 金額 (A)-(B) | (A-B) /B | |
| Ⅰ一般正味財産増減の部 | | | | | |
| 経営増減の部 | | | | | |
| 経営収益 | 709,637,160 | 661,626,072 | 48,011,088 | | 7.3 |
| 基本財産運用利益 | 64,872,970 | 65,819,212 | 946,242 | | 1.4 |
| 基本財産受取利息振替額 | 64,872,970 | 65,819,212 | 946,242 | | 1.4 |
| 特定資産運用益 | 45,775,633 | 48,139,584 | 2,363,951 | | 4.9 |
| 運用財産受取利息 | 45,775,633 | 48,139,584 | 2,363,951 | | 4.9 |
| 事業収益 | 67,632,777 | 67,686,633 | 53,856 | | 0.1 |
| 地域振興事業収益 | 13,390,000 | 13,000,000 | 390,000 | | 3.0 |
| 特産品展示販売事業収益 | 14,064,966 | 15,845,630 | 1,780,664 | | 11.2 |
| 施設等管理運営事業収益 | 24,534,653 | 23,853,135 | 681,518 | | 2.9 |
| 交補関連事業収益 | 15,613,128 | 14,999,868 | 613,260 | | 4.3 |
| 交補助金等 | 480,000,000 | 447,097,323 | 32,902,677 | | 7.4 |
| 運営費受取補助金 | 0 | 17,097,323 | 17,097,323 | | 100 |
| 地方公共団体受取助成金 | 480,000,000 | 430,000,000 | 50,000,000 | | 11.6 |
| 受取負担金 | 47,681,014 | 30,398,304 | 17,282,710 | | 56.9 |
| 運営受取負担金 | 26,537,644 | 24,944,697 | 1,592,947 | | 6.4 |
| 事業受取負担金 | 21,143,370 | 5,453,607 | 15,689,763 | | 287.7 |
| 雑収益 | 3,674,766 | 2,473,016 | 1,201,750 | | 48.6 |
| 雑収益 | 3,674,766 | 2,473,016 | 1,201,750 | | 48.6 |
| 経常費用 | 714,003,194 | 667,522,054 | 46,481,140 | | 7.0 |
| 事業費 | 685,283,063 | 630,143,213 | 55,139,850 | | 8.8 |
| 経料手当 | 27,020,579 | 40,855,120 | 13,834,541 | | 33.9 |
| 臨時雇賃金 | 912,160 | 909,580 | 2,580 | | 0.3 |
| 福利厚生費 | 10,003,527 | 9,213,263 | 790,264 | | 8.6 |
| 庶務交通費 | 8,682,819 | 9,302,535 | 619,716 | | 6.7 |
| 通信運搬費 | 3,213,750 | 3,213,750 | 604,747 | | 18.8 |
| 講師等謝金 | 17,157,064 | 17,080,813 | 76,251 | | 0.4 |
| 消耗品器具備品 | 0 | 58,000 | 58,000 | | 100 |
| 印刷製本費 | 133,709 | 372,892 | 239,183 | | 64.1 |
| 印刷製本費 | 5,184,540 | 5,330,913 | 146,373 | | 2.7 |
| 光熱水料費 | 5,972,673 | 5,470,458 | 502,215 | | 9.2 |
| 賃借料 | 9,178,300 | 9,754,340 | 576,040 | | 5.9 |
| 保険料 | 872,970 | 865,081 | 7,889 | | 2.1 |
| 助成金 | 1,726,113 | 3,048,375 | 1,322,262 | | 43.4 |
| 広告宣伝費 | 5,531,039 | 8,559,227 | 3,028,188 | | 35.4 |
| 支払負担金 | 487,017,246 | 435,019,318 | 51,997,928 | | 12.0 |
| 支払助成金 | 19,186,323 | 13,408,500 | 5,777,823 | | 43.1 |
| 租税公課 | 833,600 | 716,500 | 117,100 | | 16.3 |
| 雑損賠償 | 8,486,934 | 10,462,928 | 1,975,994 | | 18.9 |
| 委託費 | 91,800 | 183,836 | 92,036 | | 50.1 |
| 委託費 | 74,085,080 | 55,617,549 | 18,467,531 | | 33.2 |
| 雑料費 | 48,439 | 82,104 | 33,665 | | 41.0 |
| 雑費 | 549,140 | 628,131 | 78,991 | | 12.6 |

| 科 目 | 平成26年度 (A) | 平成25年度 (B) | 増 減 (△) | | 率(%) (A-B) / (B) ×100 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | | | 金額 (A)-(B) | 率(%) (A-B) / (B) ×100 | |
| 管理費 | 287,720,131 | 37,378,841 | △ 8,658,710 | △ 23.2 | |
| 給料手当 | 6,338,162 | 9,583,301 | △ 3,245,139 | △ 51.2 | |
| 福利厚生費 | 2,346,503 | 2,161,134 | 185,369 | 8.6 | |
| 旅費交通費 | 1,169,138 | 1,372,870 | △ 203,732 | △ 17.4 | |
| 通信運搬費 | 478,925 | 834,760 | △ 355,835 | △ 74.4 | |
| 減価償却費 | 279,605 | 332,556 | △ 52,951 | △ 15.9 | |
| 消耗品費 | 0 | 77,070 | △ 77,070 | △ 100 | |
| 消耗品費 | 0 | 519,729 | △ 519,729 | △ 100 | |
| 会議費 | 19,240 | 11,815 | 7,425 | 62.8 | |
| 印刷費 | 178,977 | 109,410 | 69,567 | 38.7 | |
| 光熱水料費 | 1,143,244 | 2,137,283 | △ 994,039 | △ 87.1 | |
| 賃借料 | 6,043,423 | 6,886,044 | △ 842,621 | △ 13.8 | |
| 保険料 | 38,100 | 48,100 | △ 10,000 | △ 26.3 | |
| 借入金 | 7,154,400 | 3,923,250 | 3,231,150 | 45.2 | |
| 支払利息 | 0 | 248,046 | △ 248,046 | △ 100 | |
| 租税公課 | 534,400 | 710,550 | △ 176,150 | △ 24.8 | |
| 修繕費 | 70,200 | 3,585,435 | △ 3,515,235 | △ 98.0 | |
| 委託費 | 315,528 | 1,388,750 | △ 1,073,222 | △ 77.3 | |
| 雑費 | 2,271,998 | 3,698,738 | △ 1,426,740 | △ 38.6 | |
| 当期経常増減額 | △ 4,366,031 | △ 5,895,982 | 1,529,951 | △ 25.9 | |
| 経常外増減の部 | | | | | |
| 経常外収益 | 0 | 0 | 0 | - | |
| 経常外費用 | 35,324,447 | 1,245,464 | 34,078,983 | 0 | |
| 固定資産除却損 | 0 | 1,245,464 | △ 1,245,464 | △ 100 | |
| 貸倒引当金繰入 | 35,324,447 | 0 | 35,324,447 | - | |
| 当期経常外増減額 | △ 35,324,447 | △ 1,245,464 | △ 34,078,983 | 45.8 | |
| 当期正味財産増減額 | △ 39,690,481 | △ 7,141,446 | 32,549,035 | △ 81.9 | |
| 一般正味財産期末残高 | 871,198,093 | 878,339,539 | △ 7,141,446 | △ 0.8 | |
| 特定正味財産期末残高 | 831,507,612 | 871,198,093 | △ 39,690,481 | △ 4.6 | |
| 基本財産受取利息 | 64,872,970 | 65,819,212 | △ 946,242 | △ 1.4 | |
| 基本財産受取利息振替額 | △ 64,872,970 | △ 65,819,212 | 946,242 | △ 1.4 | |
| 基本財産受取利息振替額 | △ 64,872,970 | △ 65,819,212 | 946,242 | △ 1.4 | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | - | |
| 指定正味財産期首残高 | 4,000,000,000 | 4,000,000,000 | 0 | 0 | |
| 指定正味財産期末残高 | 4,000,000,000 | 4,000,000,000 | 0 | 0 | |
| 正味財産期末残高 | 4,831,507,612 | 4,871,198,093 | △ 39,690,481 | △ 0.8 | |

(単位：円)

(別表2) 平成26年度 公益財団法人東京都島しょ振興公社 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 収益事業等会計 | 法人会計 | 合計 |
|--------------|-------------|------------|------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 経常増減の部 | | | | |
| 経常収益 | 657,618,974 | 14,127,033 | 37,591,153 | 709,637,160 |
| 基本財産運用益 | 42,338,346 | 11,843,567 | 10,691,057 | 64,872,970 |
| 基本財産受取利息振替額 | 42,338,346 | 11,843,567 | 10,691,057 | 64,872,970 |
| 特定資産運用益 | 45,775,633 | 0 | 0 | 45,775,633 |
| 運用財産受取利息 | 45,775,633 | 0 | 0 | 45,775,633 |
| 事業収益 | 66,295,777 | 1,397,000 | 0 | 67,692,777 |
| 地域振興事業収益 | 13,390,000 | 0 | 0 | 13,390,000 |
| 特定商品販売事業収益 | 12,667,996 | 1,397,000 | 0 | 14,064,996 |
| 施設等管理運営事業収益 | 24,534,653 | 0 | 0 | 24,534,653 |
| 交通関連事業収益 | 15,643,128 | 0 | 0 | 15,643,128 |
| 受取補助金等 | 480,000,000 | 0 | 0 | 480,000,000 |
| 地方公共団体受取補助金 | 480,000,000 | 0 | 0 | 480,000,000 |
| 受取負担金 | 20,256,904 | 886,466 | 0 | 21,143,370 |
| 連営受取負担金 | 20,256,904 | 886,466 | 0 | 21,143,370 |
| 連営受取負担金 | 20,256,904 | 886,466 | 0 | 21,143,370 |
| 雑収益 | 3,012,314 | 0 | 662,452 | 3,674,766 |
| 雑収益 | 3,012,314 | 0 | 662,452 | 3,674,766 |
| 経常費用 | 671,115,258 | 14,167,805 | 28,720,131 | 714,003,194 |
| 事業費用 | 671,115,258 | 14,167,805 | 28,720,131 | 714,003,194 |
| 給料手当 | 25,352,642 | 1,667,937 | 0 | 27,020,579 |
| 臨時雇賃金 | 9,121,160 | 0 | 0 | 9,121,160 |
| 福利厚生費 | 9,386,025 | 617,502 | 0 | 10,003,527 |
| 旅費交通費 | 8,682,819 | 0 | 0 | 8,682,819 |
| 通信運搬費 | 2,609,003 | 0 | 0 | 2,609,003 |
| 減価償却費 | 13,746,234 | 3,410,830 | 0 | 17,157,064 |
| 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 印刷製本費 | 5,184,540 | 0 | 0 | 5,184,540 |
| 光熱水料費 | 1,725,305 | 4,247,368 | 0 | 5,972,673 |
| 賃借料 | 5,513,212 | 3,665,088 | 0 | 9,178,300 |
| 保険料 | 837,256 | 35,712 | 0 | 872,968 |
| 諸謝金 | 1,726,113 | 99,360 | 0 | 1,825,473 |
| 広告宣伝費 | 5,431,679 | 0 | 0 | 5,431,679 |
| 支払負担金 | 487,017,246 | 0 | 0 | 487,017,246 |
| 支払助成金 | 19,186,328 | 0 | 0 | 19,186,328 |
| 特産品費 | 8,486,934 | 0 | 0 | 8,486,934 |
| 修繕費 | 0 | 91,800 | 0 | 91,800 |
| 委託費 | 73,768,272 | 326,808 | 0 | 74,095,080 |
| 燃料費 | 48,439 | 0 | 0 | 48,439 |
| 雑費 | 543,740 | 5,400 | 0 | 549,140 |

| 科目 | 公益目的事業会計 | | 収益事業等会計 | | 法人会計 | | 合計 |
|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|------------|------------|----|
| | 増減 | 期末残高 | 増減 | 期末残高 | 増減 | 期末残高 | |
| 管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28,720,131 | 28,720,131 | 0 |
| 給料手当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,338,162 | 6,338,162 | 0 |
| 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,346,503 | 2,346,503 | 0 |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,169,138 | 1,169,138 | 0 |
| 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 475,925 | 475,925 | 0 |
| 減価償却費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 279,605 | 279,605 | 0 |
| 消耗器具備品 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 341,288 | 341,288 | 0 |
| 会議費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19,240 | 19,240 | 0 |
| 印刷費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 178,977 | 178,977 | 0 |
| 光熱水料費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,143,244 | 1,143,244 | 0 |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,043,423 | 6,043,423 | 0 |
| 採掘料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38,100 | 38,100 | 0 |
| 詰留金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,154,400 | 7,154,400 | 0 |
| 支払負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 租税公課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 534,400 | 534,400 | 0 |
| 修繕費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70,200 | 70,200 | 0 |
| 委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 315,528 | 315,528 | 0 |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,271,998 | 2,271,998 | 0 |
| 当期経常増減額 | △ 13,496,284 | △ 40,772 | △ 40,772 | △ 4,366,034 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外増減の部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35,324,447 | 35,324,447 | 0 |
| 貸倒引当金繰入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | △ 34,522,447 | △ 802,000 | △ 802,000 | △ 35,324,447 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 48,018,731 | △ 843,772 | △ 843,772 | △ 39,690,481 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産期首残高 | 829,969,646 | 20,423,286 | 20,804,161 | 871,198,093 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産期末残高 | 781,950,915 | 19,581,514 | 29,975,183 | 831,507,612 | 0 | 0 | 0 |
| II指定正味財産増減の部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基本財産受取利息 | 42,338,346 | 11,843,567 | 10,691,057 | 64,872,970 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 42,338,346 | △ 11,843,567 | △ 10,691,057 | △ 64,872,970 | 0 | 0 | 0 |
| 基本財産受取利息振替額 | △ 42,338,346 | △ 11,843,567 | △ 10,691,057 | △ 64,872,970 | 0 | 0 | 0 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 2,400,000,000 | 800,000,000 | 800,000,000 | 4,000,000,000 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 2,400,000,000 | 800,000,000 | 800,000,000 | 4,000,000,000 | 0 | 0 | 0 |
| III正味財産期末残高 | 3,181,950,915 | 819,581,514 | 829,975,183 | 4,831,507,612 | 0 | 0 | 0 |

(単位：円)

(別表3) 公益財団法人島しょ振興公社 比較貸借対照表

| 科目 | 平成26年度 | | 平成25年度 | | 増減(△) | | 増減率(%) (A-B)÷B×100 |
|---------------|-----------------|-----------------|---------------|--------|---------|---------|-----------------------|
| | (A) | (B) | (A) | (B) | (A)-(B) | (A)÷(B) | |
| I資産の部 | 278,620,269 | 335,642,044 | △ 57,021,775 | △ 17.0 | | | |
| 流動資産 | 232,986,823 | 277,286,492 | △ 44,299,669 | △ 16.0 | | | |
| 現金預金 | 45,260,794 | 41,732,560 | 3,528,234 | 8.5 | | | |
| 棚卸資産 | 372,652 | 37,732 | 334,920 | 887.6 | | | |
| 立替金 | 0 | 16,585,260 | △ 16,585,260 | △ 100 | | | |
| 固定資産 | 6,814,790,808 | 6,801,624,651 | 13,166,157 | 0.2 | | | |
| 基本財産 | 4,000,000,000 | 4,000,000,000 | 0 | 0 | | | |
| 定期預金 | 6,851,713 | 107,821,713 | △ 100,970,000 | △ 83.6 | | | |
| 投資有価証券 | 3,993,148,287 | 3,892,178,287 | 100,970,000 | 2.6 | | | |
| 特定資産 | 2,669,500,000 | 2,652,100,000 | 17,400,000 | 0.7 | | | |
| 都借入金返済引当資産 | 2,240,000,000 | 2,240,000,000 | 0 | 0 | | | |
| 減価償却引当資産 | 314,700,000 | 297,300,000 | 17,400,000 | 5.9 | | | |
| 設備取得積立資産 | 17,800,000 | 17,800,000 | 0 | 0 | | | |
| 積立預金 | 97,000,000 | 97,000,000 | 0 | 0 | | | |
| その他の固定資産 | 145,290,808 | 149,524,651 | △ 4,233,843 | △ 2.8 | | | |
| 建物 | 117,041,974 | 128,003,488 | △ 10,961,514 | △ 8.6 | | | |
| 建築物附属設備 | 16,772,851 | 15,263,293 | 1,509,558 | 9.9 | | | |
| 構築物 | 1 | 1 | 0 | 0 | | | |
| 什器備品 | 3,503,671 | 4,752,977 | △ 1,249,306 | △ 26.3 | | | |
| ソフトウェア | 264,628 | 350,644 | △ 86,016 | △ 24.5 | | | |
| 電話加入権 | 537,248 | 537,248 | 0 | 0 | | | |
| 敷金 | 582,000 | 617,000 | △ 35,000 | △ 5.7 | | | |
| 長期未収金 | 41,912,882 | 0 | 41,912,882 | - | | | |
| 貸倒引当金 | △ 35,324,447 | 0 | △ 35,324,447 | - | | | |
| 資産合計 | 7,093,411,077 | 7,137,266,695 | △ 43,855,618 | △ 0.6 | | | |
| 負債の部 | 21,903,465 | 26,068,602 | △ 4,165,137 | △ 16.0 | | | |
| 流動負債 | 21,659,338 | 25,596,982 | △ 3,937,644 | △ 15.4 | | | |
| 未払金 | 244,127 | 471,630 | △ 227,493 | △ 48.2 | | | |
| 預り金 | 2,240,000,000 | 2,240,000,000 | 0 | 0 | | | |
| 固定負債 | 2,240,000,000 | 2,240,000,000 | 0 | 0 | | | |
| 長期借入金 東京都借入金 | 2,261,903,465 | 2,266,068,602 | △ 4,165,137 | △ 0.2 | | | |
| 負債合計 | 4,000,000,000 | 4,000,000,000 | 0 | 0 | | | |
| 指定正味財産 | (4,000,000,000) | (4,000,000,000) | 0 | 0 | | | |
| (うち基本財産への未当額) | 1,818,400,000 | 1,818,400,000 | 0 | 0 | | | |
| 東京都出えん金 | 2,181,600,000 | 2,181,600,000 | 0 | 0 | | | |
| 島しょ9町村出えん金 | 831,507,612 | 871,198,093 | △ 39,690,481 | △ 4.6 | | | |
| 一般正味財産 | (429,500,000) | (412,100,000) | (17,400,000) | 4.2 | | | |
| (うち特定資産への未当額) | 4,831,507,612 | 4,871,198,093 | △ 39,690,481 | △ 0.8 | | | |
| 正味財産合計 | 7,093,411,077 | 7,137,266,695 | △ 43,855,618 | △ 0.6 | | | |

(単位：円)

公立大学法人首都大学東京

第1 監査の目的

地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第7項に基づき、都が出資等を行っている団体に対して、団体の事業が出資等の目的に沿って適切に運営されているか監査を実施する。

第2 監査の対象

1 監査対象団体及び局

(1) 監査対象団体 公立大学法人首都大学東京

(2) 監査対象局 総務局

2 事業の内容

(1) 事業の概要

公立大学法人首都大学東京(以下「法人」という。)は、地方独立行政法人法(平成15年法律第118号。以下「法」という。)に基づき、平成17年4月1日に都が設立した公立大学法人である。

法人は、大都市における人間社会の理想像を追求することを使命とし、広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究するとともに、教育研究機関、産業界等との連携を通じて、大都市に立脚した教育研究の成果をあげ、豊かな人間性と獨創性を備えた人材を育成し、もって都民の生活及び文化の向上に寄与することを旨とし、次に、次の業務を行っている。

ア 首都大学東京、産業技術大学院大学及び東京都立産業技術高等学校の設置及び運営

イ 学生に対する修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助

ウ 受託研究又は共同研究その他の法人以外の者との連携による教育研究

エ 公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会の提供

オ 教育研究の普及及び活用促進

(2) 都との関係

ア 財産的基礎の出資

都は、表1のとおり、東京都立大学条例等を廃止する条例(平成16年条例第166号)による廃止前の東京都立大学、東京都立科学技術大学及び東京都立保健科学大学並びに東京都立学校設置条例の一部を改正する条例(平成19年条例第110号)による移管前の東京都立工業高等専門学校及び東京都立航空工業高等専門学校の土地及び建物を現物出資(出資比率:100%)している。

(表1) 出資(現物出資)の状況

(単位: m², 円)

| 区 分 | 土地 | | 建物 | |
|-----------------|------------|----------------|------------|----------------|
| | 地積 | 評価額 | 延べ床面積 | 評価額 |
| 東京都立大学 | 428,041.26 | 29,845,527,110 | 158,673.81 | 29,690,479,028 |
| 東京都立保健科学大学 | 34,999.97 | 5,914,994,930 | 29,638.27 | 6,098,194,271 |
| 東京都立科学技術大学 | 62,439.61 | 7,010,000,000 | 28,852.45 | 7,174,448,398 |
| 東京都立大学小笠原研究施設 | 771.45 | 24,100,000 | 546.73 | 159,546,400 |
| 東京都立工業高等専門学校 | 37,134.15 | 30,084,078,300 | 34,139.54 | 7,577,456,910 |
| 東京都立航空工業高等専門学校等 | 48,370.10 | 13,156,667,200 | 30,819.55 | 4,866,333,473 |
| 合 計 | 611,756.54 | 86,035,367,540 | 282,667.35 | 55,566,458,480 |

イ 運営費交付金等の交付

都は、法人に対し、その業務の財源に充てるために、法第42条の規定に基づき運営費交付金を、東京都補助金等交付規則(昭和37年東京都規則第141号)に基づき施設費補助金を表2のとおり交付している。

また、都は、高等学校等就学支援金の支給に関する法律(平成22年法律第18号)に基づき、東京都立産業技術高等学校の学生に対する高等学校等就学支援金の支給事務に要する経費として、表3のとおり、高等学校等就学支援金等を交付している。

(表2) 運営費交付金及び施設費補助金の交付状況

(単位: 円)

| | 第9期(平成25.4.1~平成26.3.31) | 第10期(平成26.4.1~平成27.3.31) |
|--------|-------------------------|--------------------------|
| 運営費交付金 | 16,452,344,048 | 16,388,234,462 |
| 施設費補助金 | 2,366,140,324 | 3,134,636,073 |
| 合計 | 18,818,484,372 | 19,522,870,535 |

(表3) 高等学校等就学支援金及び事務費の交付状況

(単位: 円)

| | 第9期(平成25.4.1~平成26.3.31) | 第10期(平成26.4.1~平成27.3.31) |
|-------|-------------------------|--------------------------|
| 就学支援金 | 126,915,450 | 122,281,700 |
| 事務費 | 996,000 | 502,000 |
| 合計 | 127,911,450 | 122,783,700 |

ウ 調査研究等の委託
都は、法人に対し、表4のとおり、調査研究等を委託している。

(表4) 調査研究等の委託実績額 (単位：円)

| 局名 | 平成26年度 | 平成25年度 | 増(△)減 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 政策企画局(口知事本局) | 263,339,233 | 264,510,108 | △ 1,170,855 |
| 総務局 | 4,780,496 | 4,787,400 | △ 6,904 |
| 都市整備備局 | 3,038,091 | 1,142,853 | 1,895,238 |
| 産業労働局 | 990,000 | 990,000 | 0 |
| 港湾局 | 86,139 | 158,766 | △ 72,627 |
| 交通局 | - | 2,320,000 | △ 2,320,000 |
| 水道局 | 51,383,944 | 58,937,754 | △ 7,553,810 |
| 合計 | 323,617,923 | 332,846,881 | △ 9,228,958 |

エ 行政財産の目的外使用許可に係る使用料の免除等
都は、法人に対し、表5に掲げる行政財産の目的外使用許可に係る使用料を免除し、普通財産を無償で貸し付けている。

(表5) 行政財産の目的外使用許可に係る使用料の免除等の状況 (単位：㎡)

| 分類 | 施設の名称(所在地) | 目的 | 種類 | 面積 |
|------|---|-------------------------|----------|-------------------|
| 行政財産 | 東京都庁第一本庁舎 (東京都新宿区西新宿二丁目8番) 東京都農林総合研究センター (東京都立川市富士見町三丁目1番1号) | ビジネススクールの運営 観測用鉄塔の設置 | 建物 土地 | 586.67 25.00 |
| 普通財産 | 首都大学東京晴海校舎 (東京都中央区晴海一丁目2番) 富士見高原学外施設 (長野県富士見町立沢字広原1番1056) | 法科大学院の運営 セミナーハウスの運営 | 建物 建物 | 9,869.02 78.30 |

3 組織
法人は、主たる事務所を新宿区西新宿二丁目3番1号に、各キャンパスを表6のとおり設置している。

平成26年5月1日現在における従業員等46名、役員8名(理事長1名、副理事長3名、理事3名、監事1名)(うち非常勤1名)、教員847名及び職員493名(都派遣職員133名を含み、人材派遣職員を含まない。)であり、事務組織は、1室6部2センターをもって構成されている。

(表6) 各キャンパス所在地等

| 学校名 | キャンパス名(注) | 所在地 | 教育研究組織 |
|--------|----------------|-----------------|---|
| 首都大学東京 | 南大沢キャンパス | 八王子市南大沢一丁目1番 | 都市教養学部、都市環境学部、システムデザイン学部(1・2年次)、健康福祉学部(1年次)、大学教育センター、国際センター、オーブンユニバーシティ、学術情報基盤センター、総合研究推進機構、人文科学研究科、都市環境科学研究科、理工学研究科、都市環境科学研究科、人間健康科学研究科(ヘルスプロモーションサイエンス学域) |
| | 日野キャンパス | 日野市旭が丘六丁目6番 | システムデザイン学部(3・4年次)、システムデザイン研究科 |
| | 荒川キャンパス | 荒川区東尾久七丁目2番 | 健康福祉学部(2～4年次)助産学専攻科、人間健康科学研究科(ヘルスプロモーションサイエンス学域を除く) |
| | 晴海キャンパス | 中央区晴海一丁目2番 | 社会科学研究所法曹養成専攻(法科大学院) |
| | 新宿サテライトキャンパス | 新宿区西新宿二丁目8番 | 社会科学研究所経営学専攻(ビジネススクール) |
| | 飯田橋キャンパス | 千代田区飯田橋三丁目5番 | オーブンユニバーシティ |
| | 品川シーサイドキャンパス | 品川区品川区東大井一丁目10番 | 産業技術研究科、オーブンユニバーシティ、附属図書館 |
| | 高専品川キャンパス | 品川区東大井一丁目10番 | ものづくり工学科、創造工学科、附属図書館 |
| | 東京都立産業技術高等専門学校 | 荒川区南千住八丁目17番 | ものづくり工学科、創造工学科専攻、附属図書館 |
| | 高専荒川キャンパス | 荒川区南千住八丁目17番 | ものづくり工学科、創造工学科専攻、附属図書館 |

(注) このほか、法人は、学会等の会場として、秋葉原サテライトキャンパス(千代田区外神田一丁目18番)を設置している。

第3 監査の範囲及び実地監査期間

1 監査の範囲

第9期（平成25.4.1～平成26.3.31）及び第10期（平成26.4.1～平成27.3.31）の事業について実施した。

2 実地監査期間

(1) 総務局 平成27年11月16日及び同年12月1日
 (2) 法人 平成27年11月17日から同月30日まで

第4 監査の結果

1 運営に関する事項

法人は、首都大学東京、産業技術大学院大学及び都立産業技術高等専門学校について、都知事が定めた業務運営に係る中期目標に基づき、中期計画及び年度計画を作成し、運営を行っている。

運営状況について見ると、第10期の当期純利益は2億8,010万余円、当期総利益は6億2,549万余円、第10期末の財政状態は、資産合計1,566億8,917万余円、負債合計187億8,294万余円、純資産合計1,379億622万余円となっている。また、前期（第9期）との比較増減分析を通して確認したところ、運営状況に影響を及ぼす事項はなかった。

事業運営について見ると、法人は、年度計画を順調に実施することにより、第二期中期計画の進行状況全体についても、これまでの取組成果に満足することなく、より高いレベルを目指して努力していることから、「単年度計画に対する実績という点でも、また第二期中期計画に対する進捗状況という点でも、順調に成果を挙げている」と、東京都地方独立行政法人評価委員会から評価されている。

一方で、漸減傾向にある単年度の利益において、法人の経営努力と認定されない積立金の割合も増加していることから、法人においては、法人全体のあるべき収支構造を中長期的に捉えた上で、自己収入の改善その他業務運営及び財務運営に係る取組の更なる推進が求められる。

以上、運営状況について述べてきたが、法人の事業は、別項指摘事項を除き、出資の目的に沿って、適切に運営されていると認められる。

2 指摘事項

(1) 法人

(支出)

ア 研究費の適正な取扱いについて徹底すべきもの

法人は、「研究費の取扱い」について（平成26年度4月1日改訂版）（以下「取扱い」という。）において、研究費の執行に際しては、法人クレジットカード以外のクレジットカードの使用については、原則として認められないとしている。これは、個人のクレジットカードを使用した場合、カードポイントやマイルが発生することがあるためである。

ところで、システムデザイン学部における、一般財源から措置される平成26年度の研究費の執行について見たところ、以下のとおり、取扱いに照らして適正でない状況が見受けられた。

① 学会参加を目的とする旅費の支出について見たところ、表7のとおり、正当な理由がなく個人のクレジットカードを使用している事例があった。

② 国際会議の参加費の支出について見たところ、表8のとおり、正当な理由がなく個人のクレジットカードを使用している事例があった。

平成25年度改訂版の取扱いにおいては、国際会議の参加費等でカード決済が義務づけられている等、他に方法がない場合に限り、個人のクレジットカードの使用が認められていたが、平成25年6月に法人クレジットカードが導入されたため、平成26年度からは、一般財源研究費の執行においては、個人のクレジットカードの使用は原則として禁止されている。法人は、研究費を執行する各教員に対して、必要に応じて法人クレジットカードを作成して使用するよう指導するとともに、研究費の適正な取扱いについて、改めて徹底されたい。

（公立大学法人首都大学東京）